



2020年3月12日

各 位

会 社 名 株式会社 REVOLUTION
 代表者の 代表取締役社長 岡本 貴文
 役職氏名 (コード番号 8894 東証第2部)
 問合せ先 取 締 役 津野浩志
 電話番号 083-229-8894

第2四半期累計期間及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2019年12月11日に公表した2020年10月期第2四半期累計期間(2019年11月1日～2020年4月30日)及び2020年10月期(2019年11月1日～2020年10月31日)の業績予想を修正することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2020年10月期第2四半期(累計)業績予想数値の修正(2019年11月1日～2019年4月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	424	19	3	2	0.01
今回修正予想 (B)	396	1	△6	△7	△0.03
増減額 (B-A)	△28	△18	△9	△9	—
増減率 (%)	△6.6	△94.7	—	—	—
(参考) 前第2四半期実績 (2019年10月期第2四半期)	386	19	14	△56	△0.76

2. 2020年10月期(累計)業績予想数値の修正(2019年11月1日～2020年10月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	848	41	8	7	0.04
今回修正予想 (B)	833	21	25	24	0.12
増減額 (B-A)	△15	△20	17	17	—
増減率 (%)	△1.8	△48.8	212.5	242.9	—
(参考) 前期実績 (2019年10月期)	827	18	△16	△55	△0.43

2. 修正の理由

第2四半期累計期間の売上高は、自社物件の入居率やウィークリーの稼働は好調であるものの、例年に比べ来店数の減少が想定されることや営繕工事の工期や納期の遅れが生じる可能性がある状況から下半期の計上が見込まれるため、前回発表予想を下回る見通しとなりました。利益面では、営業利益が前述の売上高の減少に伴い前回発表予想を下回る見通しとなりました。経常利益及び四半期純利益は、いずれも営業利益の減少に伴い前回発表予想を下回る見通しとなりましたが、2020年3月5日付「業務委託契約の締結に関するお知らせ」のとおり、業務受託報酬を営業外収益として計上することから営業利益程の減少には至っておりません。

通期業績予想につきましては、第2四半期累計期間の業績予想や最近の当社の状況等を踏まえると売上高及び営業利益は前回発表を下回る見通しです。経常利益、当期純利益は、前述の業務受託報酬の計上により前回発表を上回る見通しとなりました。

なお、業務受託報酬は160百万円を受領しますが、月額換算して毎月営業外収益として計上すること及び業務受託に関する経費を営業外費用として計上することを考慮して予想数値を算出しております。

以上